

「ロコモコーディネーター活動の未来」

SLOC副理事長 原田 昭 長谷川利雄

「ロコモコーディネーター活動の未来」をテーマに各地域にて活発に活動されている5名にご発表いただいた。

帖佐は宮崎大学が核となって宮崎県を巻き込んだ子供から高齢者までロコモ・ザ・ワールド宮崎の活動状況を報告した。

宮田は大阪府富田林市でロコトレ教室、各運動の工夫と医師会・企業・富田林市・近隣の大学が参加した産官学医連携活動を報告した。

新井は厚生労働省保険局高齢者医療課が推進しているフレイル検診とロコモコーディネーター(以下、LC)の目標は一致していて、LC活動はフレイルと共存するべきであるという指針を示した。

渥美は浜松市のLC活動の詳細とLCの介入により良好な結果が得られることを報告した。

藤田は福岡市と連携したLC活動を報告し、ロコトレは認知症や脳卒中予防にも効果がある可能性を示唆した。

総合討論では、LC活動の継続性、ロコモ認知度向上、男性の参加者を増やす試みなど活発な討論が行われた。

LC活動は国が求める全世代型社会保障や地域における高齢者の通いの場所を提供するなどの方針と合致していて、次年度実施予定のフレイル検診が始まったとしてもこれを継続していくべきことを確認した。